

いまもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司後援会
発行元：座間市相模が丘3-24-2-203
連絡先：046-204-5911（ファックスも同じ）

おぎはら健司の市政レポート

『平成25年第三回定例会が閉会』

8月29日に開会した平成25年第三回定例会が9月30日に閉会いたしました。

今回の定例会は、昨年度（24年度）の決算審査が主な内容とお伝えして参りましたが、その内容については、私が所属する保守系会派「新政いさま」の議員8名をはじめとする16名の議員により賛成多数（賛16・反6）で成立・承認されました。

私どもが賛成した主な理由としては、長引く不況や厳しい財政状況下に於いて、22・23年度に続いて、実質単年度収支（自治体に於ける預金とも言える「財政調整基金」への積み立てや市債の繰上げ償還等の支出、その「財政調整基金」からの繰り入れを除いた純粋な年度内収支）が黒字（今年度は2億1千7百万余）であった事が大きな要因ですが、もちろん、予算編成時に計画した事業の執行においても着実に進められていると判断したものです。

年度末、必要ないと思われるような道路工事などの公共事業が気になった事ありませんか？

俗に言う「予算の使い切り」といったイメージを連想させるものですが、そうしたものも含めて、遠藤市長は「勇気を持って不要額を残せ！」と経営者感覚で職員に指示を出し、職員も市長の意図をしっかりと受け止めた結果が実質単年度収支黒字を実現したものと評価を致しました。

また、この議会に追加議案として提出されたものに「小・中学校エアコン設置事業」の補正予算があります。市内の公立小・中学校計17校のうち、エアコン未設置の学校が9校あり、そのうち入谷小学校・中原小学校・旭小学校の3校は当初計画では平成27年度（他6校は26年度）の設置の予定となっておりましたが、今年の夏休みに設置された相模中学校をはじめとする6校から大変な反響があり、不公平感をなくすよう、出来る限りの素早い対応を検討された結果が今回の補正予算の提出でした。

これが実現出来たのは、私が推奨してきた議会改革の一環で、今年から前年度決算を第三回定例会で行うようにした結果、早い段階（9月）に前年の実質単年度収支が黒字である事が明らかに出来た事が大きな要因だと思っております。

この補正予算については、過去のレポートでも紹介した通り、小・中学校へのエアコン設置に反対している神奈川ネットワーク運動の2名の議員と無会派の議員1名が反対をされましたが、賛成多数（賛19・反3）で可決・成立を致しました。

その他の追加議案は、国家公務員が平成24年度から2カ年の時限立法で給与削減をしている事から、今年は地方公務員に対しても削減が求められており、座間市職員の給与削減に関する条例改正が提案されましたが、こちらについては複雑な心境ではありましたが賛成をし、賛成多数（賛16・反6）で可決・成立し、10月から来年3月までの期間で実施をされる事になりました。

議会は終了しましたが、10月～11月にかけては市内各地で様々な行事が開催されます。

相模が丘地区では10月5日・6日にコミセン祭りが開催され、市民レクリエーション大会は10月20日に開催されます。

コミセン祭りでは実行副委員長を仰せつかっておりますので、見かけたら声をかけてください！

一年間の議員生活を振り返って

昨年9月23日の選挙で初当選させて頂き、10月1日から議員を務めておりますが、お陰様で一年が経過いたしました。

この間、地域の皆様の声を拝聴し、未熟ながらも自分なりに行政当局に対し提案を行うなど過ごして参りましたが、あっという間の一年間でした。

甘利明代議士の秘書時代に比べ、一つ一つの言動に対する責任の重さを感じながらも、やりがいを実感しております。

秘書時代の先輩でもある議員から「議員として舞台に立つ事が出来ても、演じるシナリオは自分で用意できるものではなく、市民の皆さんに様々なシナリオをご用意頂き、それを演じる事で脚本家たる市民の皆さんが住みたいと思う町づくりが実現出来るのだから、色々なご意見へ耳を傾けるように。」と言われた事を改めて思い出します。これからも、色々なシナリオをご用意頂ければ幸いです。

・・・大根役者ですけど（苦笑）。